

西区の検討資料

- 1 歴史
- 2 学級数と児童生徒数の推移
- 3 施設整備の状況
- 4 小規模校と大規模校の小中学校と配置図
- 5 再編案
 - (1) 中野小屋中学校区，赤塚中学校区を対象とした再編案
配置図
中野小屋中学校，赤塚中学校と近隣中学校の生徒数の推移
中野小屋中学と赤塚中学校の再編案
笠木小学校，小瀬小学校，木山小学校と近隣小学校の児童数の推移
笠木小学校，小瀬小学校，木山小学校の再編案
 - (2) 黒埼中学校区を対象とした再編案
配置図
黒埼南小学校，大野小学校と近隣小学校の児童数の推移
黒埼南小学校の再編案
 - (3) 小針中学校区を対象とした再編案
配置図
小針中学校，小針小学校，青山小学校，東青山小学校の児童生徒数の推移
小針中学校の再編案
 - (4) 坂井輪中学校区を対象とした再編案
配置図
新通小学校と坂井東小学校の児童数の推移
新通小学校の再編案

1 歴史

明治34年当時は坂井輪村，内野村，赤塚村，中野小屋村，黒埼村の5つの村があり，坂井輪村は昭和29年に新潟市と合併した。内野村は昭和3年に町制へと移行した後昭和35年に，赤塚村，中野小屋村は昭和36年に新潟市と合併した。また，黒埼地区の黒埼村は昭和48年に黒埼町となり，平成13年に新潟市と合併した。

2 学級数と児童生徒数の推移

上段：学級数 下段：人数

網掛け：適正規模

中学校	平成15年度	平成21年度	平成27年度	小学校	平成15年度	平成21年度	平成27年度
坂井輪	17	15	18	新通小	21	27	32
	634	560	662	坂井東	16	15	14
内野	20	17	16	内野	25	21	19
	746	617	600	西内野	17	17	14
赤塚	6	5	6	赤塚	7	10	12
	167	151	172	木山	6	6	6
中野小屋	3	3	3	小瀬	6	6	6
	100	65	42	笠木	6	5	5
小針	21	24	26	小針	20	24	18
	770	886	1010	青山	15	16	13
				東青山	20	18	19
五十嵐	20	18	15	真砂	19	13	13
	734	643	550	五十嵐	25	22	18
					803	735	587

小新	11 378	10 344	11 373	坂井輪	24 764	22 728	22 751
黒埼	19 692	15 567	15 559	大野	16 484	15 454	14 407
				黒埼南	11 245	9 203	6 159
				山田	13 396	17 515	20 607
				立仏	13 356	14 442	14 449
合計	117 3,843	107 3,833	110 3,968	合計	280 8,248	277 8,284	265 7,909

3 施設整備の状況（平成 17 年度以降の建設事業，適正規模校を除く）

学 校	年 度	内 容
小針中学校	19～21年度	校舎改修
新通小学校	21年度	校舎増築

4 小規模校と大規模校の小中学校と配置図（平成 27 年度推計による）

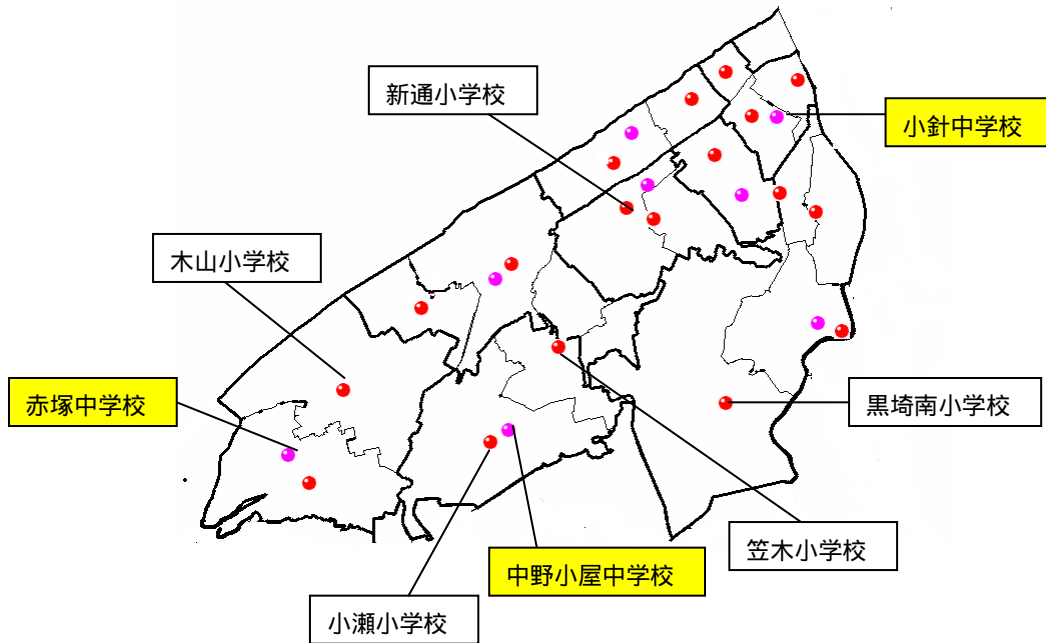
小学校

複式学級	6 学級	7～11 学級	25～30 学級	31 学級以上
笠木小学校	木山小学校 小瀬小学校 黒埼南小学校	なし	なし	新通小学校

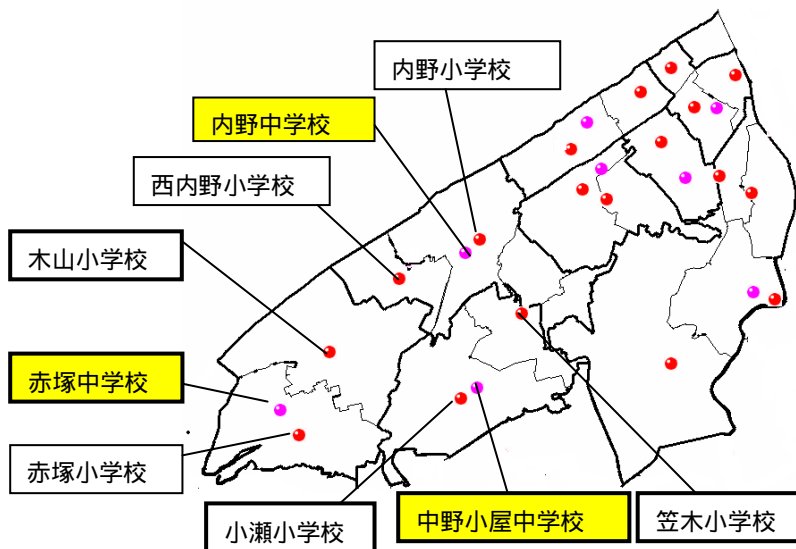
中学校

複式学級	3～5 学級	6～8 学級	19～30 学級	31 学級以上
なし	中野小屋中学校	赤塚中学校	小針中学校	なし

検討対象校学校配置図



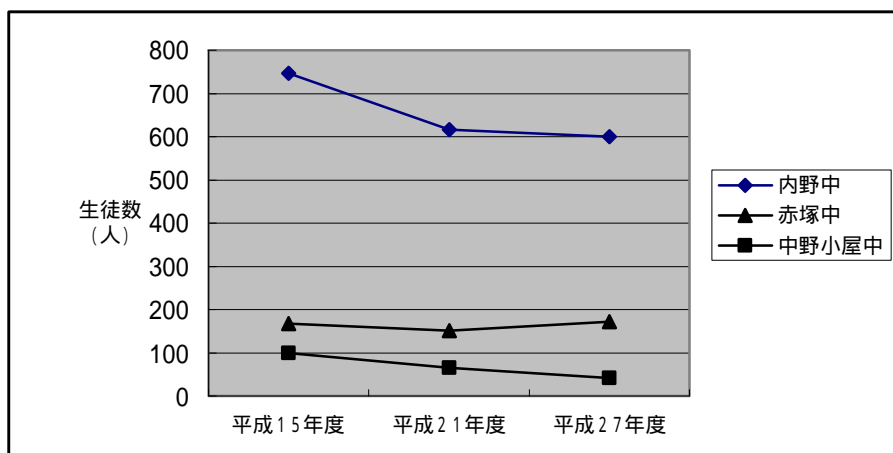
- 5 再編案（平成 27 年度推計の学級数、児童生徒数による）
 (1) 中野小屋中学校区，赤塚中学校区を対象とした再編案
 配置図



中学校	小学校
中野小屋中学校	小瀬小学校・笠木小学校
赤塚中学校	(赤塚小学校) 木山小学校

()は適正規模校

中野小屋中学校，赤塚中学校と近隣中学校の生徒数の推移



中野小屋中学校と赤塚中学校の再編案

検討校	案	統合の候補となる学校	統合後
中野小屋中 3 (4 2)	1	赤塚中 6 (172) 内野中 16 (600)	22 (814)
	2	内野中 16 (600)	18 (642)
	3	赤塚中 6 (172)	6 (214)
	4	黒埼中 15 (559)	17 (601)
赤塚中 6 (172)	5	中野小屋中 3 (42) 内野中 16 (600) 案1に同じ	22 (814)
	6	内野中 16 (600)	21 (772)
	7	中野小屋中 3 (42) 案3に同じ	6 (214)

案1 中野小屋中学校と赤塚中学校，内野中学校との統合で，22 学級の大規模校となる。

案2 中野小屋中学校と旧来より人口の多い内野地域の内野中学校との統合で，適正規模の上限の 18 学級の学校となる。

案3 中野小屋中学校と田園地帯で続く赤塚中学校との統合では，6 学級の小規模校となる。

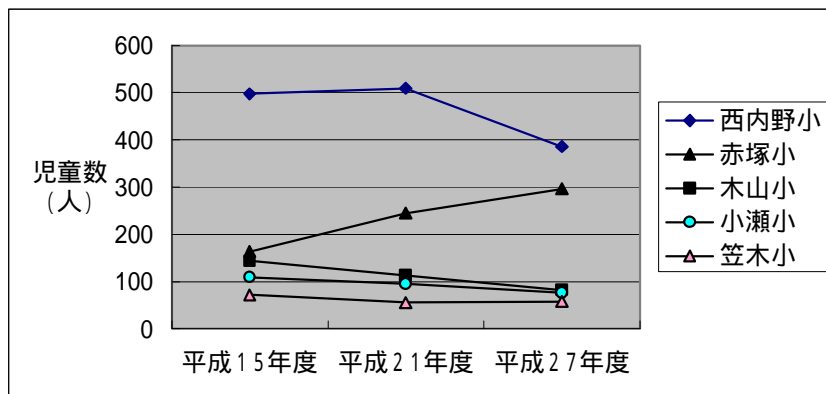
案 4 中野小屋中学校とわずかに接する黒崎中学校との統合で，17 学級の適正規模校となる。

案 5 案 1 に同じ

案 6 赤塚中学校と旧来より人口の多い内野地域の内野中学校との統合で，21 学級の大規模校となる。

案 7 案 3 に同じ

笠木小学校，小瀬小学校，木山小学校と近隣小学校の児童数の推移



笠木小学校，小瀬小学校と木山小学校の再編案

検討校	案	統合の候補となる学校	統合後	中学校区
笠木小 5 (58)	1	小瀬小 6(76) 木山小 6(82) 赤塚小 12 (296)	17 (512)	中野小屋 ・赤塚中
	2	小瀬小 6(76)	6 (134)	中野小屋 ・中野小屋
	3	小瀬小 6(76) 木山小 6(82)	9 (216)	中野小屋 ・赤塚
	4	小瀬小 6(76) 木山小 6(82) 西内野小 14 (386)	19 (602)	中野小屋 ・赤塚 ・内野
	5	内野小 19(644)	23 (702)	中野小屋 ・内野

	6	小瀬小 6(76) 内野小 19(644)	25 (778)	中野小屋 ・内野
小瀬小 6(76)	7	笠木小 5(58) 木山小 6(82) 赤塚小 12(296) 案1に同じ	17 (512)	中野小屋 ・赤塚
	8	笠木小 5(58) 案2に同じ	6 (134)	中野小屋 ・中野小屋
	9	笠木小 5(58) 木山小 6(82) 案3に同じ	9 (216)	中野小屋 ・赤塚
	10	笠木小 5(58) 木山小 6(82) 西内野小 14(386) 案4に同じ	19 (602)	中野小屋 ・赤塚 ・内野
	11	笠木小 5(58) 内野小 19(644) 案6に同じ	25 (778)	中野小屋 ・内野
	12	木山小 6(82) 赤塚小 12(296)	15 (454)	中野小屋 ・赤塚
木山小 6(82)	13	笠木小 5(58) 小瀬小 6(76) 赤塚小 12(296) 案1に同じ	17 (512)	赤塚・中野 小屋
	14	赤塚小 12(296)	13 (378)	赤塚 ・赤塚
	15	笠木小 5(58) 小瀬小 6(76) 案3に同じ	9 (216)	赤塚・中野 小屋
	16	西内野小 14(386)	15 (468)	赤塚 ・内野
	17	笠木小 5(58) 小瀬小 6(76) 西内野小 14(386) 案4に同じ	19 (602)	赤塚・中野 小屋 ・内野
	18	小瀬小 6(76) 赤塚小 12(296) 案12に同じ	15 (454)	赤塚 ・中野小屋

案1 笠木小学校と同じ中学校区の小瀬小学校と、赤塚中学校区の木山小学校、赤塚小学校との4校の統合で、17学級の適正規模校となる。

案2 笠木小学校と同じ中学校区の小瀬小学校との統合では、6学級の小規模校となる。

案3 笠木小学校と同じ中学校区の小瀬小学校と、赤塚中学校区木山

小学校との統合で，9学級の小規模校となる。

案4 笠木小学校と同じ中学校区の小瀬小学校と，赤塚中学校区木山小学校，内野中学校区の西内野小学校との統合で，19学級の適正規模校となる。

案5 笠木小学校と隣接する内野小学校との統合で，23学級の適正規模校となる。

案6 中野小屋中学校区の笠木小学校と小瀬小学校，内野中学校区の内野小学校との統合で，25学級の大規模校となる

案7 案1に同じ

案8 案2に同じ

案9 案3に同じ

案10 案4に同じ

案11 案6に同じ

案12 小瀬小学校と赤塚中学校区の2小学校との統合で，15学級の適正規模校となる。

案13 案1に同じ

案14 木山小学校と同じ中学校区の赤塚小学校との統合で，13学級の適正規模校となる。

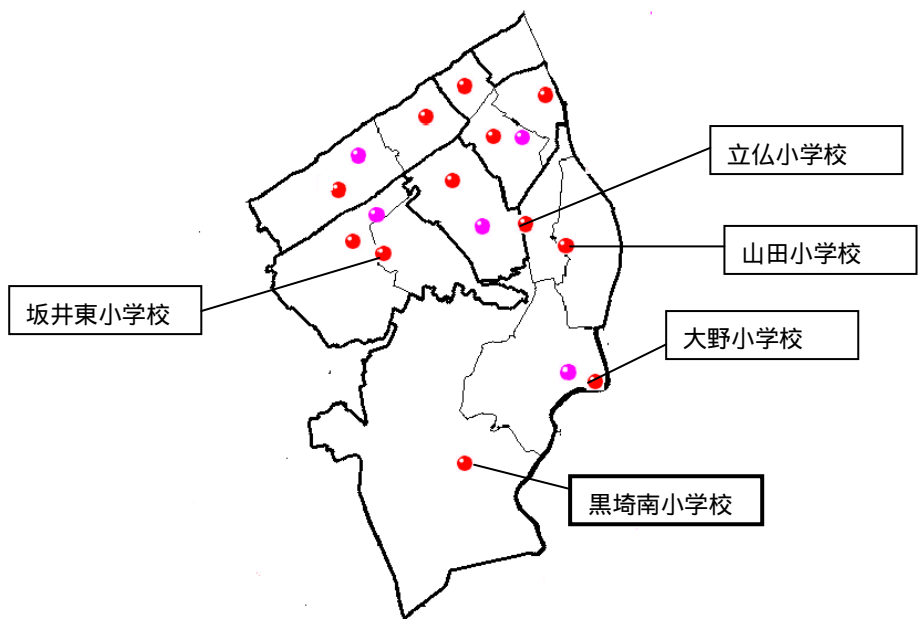
案15 案3に同じ

案16 木山小学校と隣接の西内野小学校との統合で，15学級の適正規模校となる。

案17 案4に同じ

案18 案12に同じ

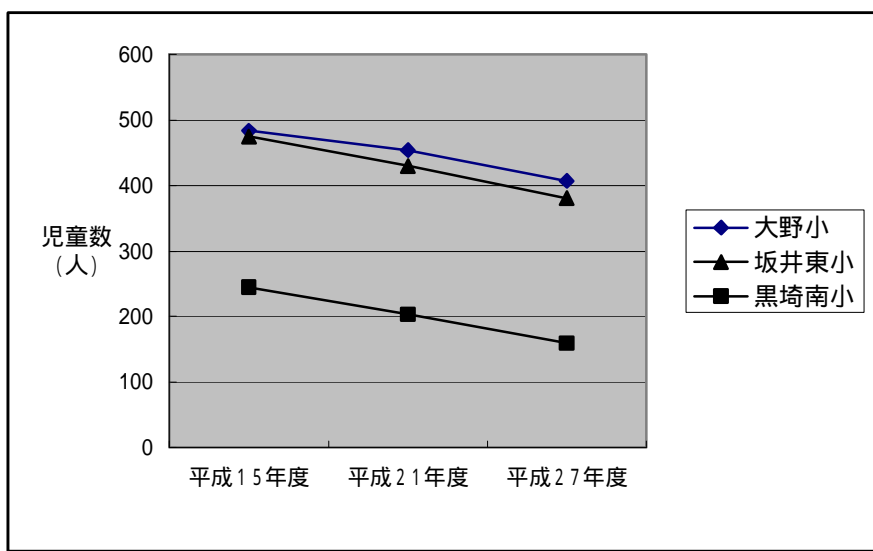
(2) 黒崎中学校区を対象とした再編案
配置図



中学校	小学校
黒崎中学校	(大野小学校)・黒崎南小学校 (山田小学校)・(立仏小学校)

()は適正規模校

黒崎南小学校，大野小学校と近隣小学校の児童数の推移



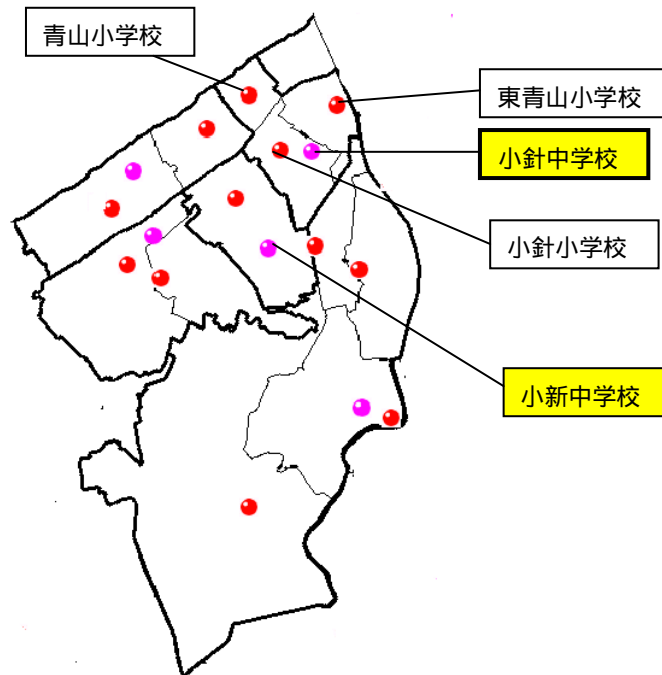
黒埼南小学校の再編案

検討校	案	統合の候補となる学校	統合後	中学校区
黒埼南小 6 (159)	1	大野小 14(407)	18 (566)	黒埼 ・黒埼
	2	坂井東小 14(381)	19 (540)	黒埼 ・坂井輪

案 1 黒埼南小学校と同じ中学校区の大野小学校との統合で 18 学級の適正規模校となる。

案 2 黒埼南小学校と隣接の坂井東小学校との統合で 19 学級の適正規模校となる。

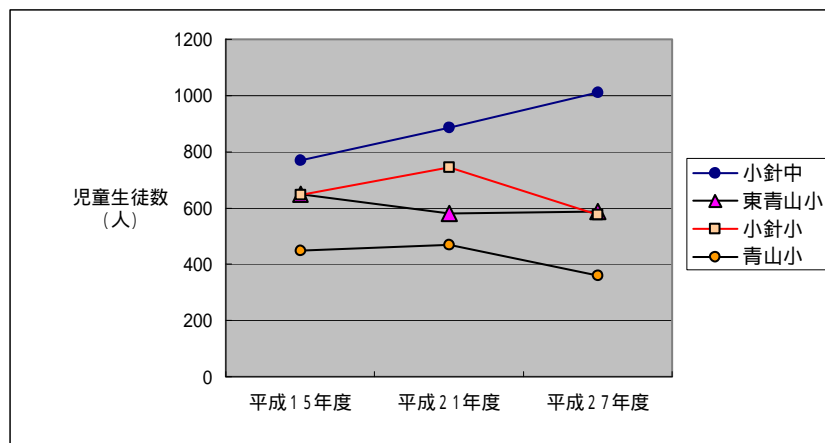
(3) 小針中学校区を対象とした再編案
配置図



中学校	小学校
小針中学校	(小針小学校),(青山小学校),(東青山小学校)

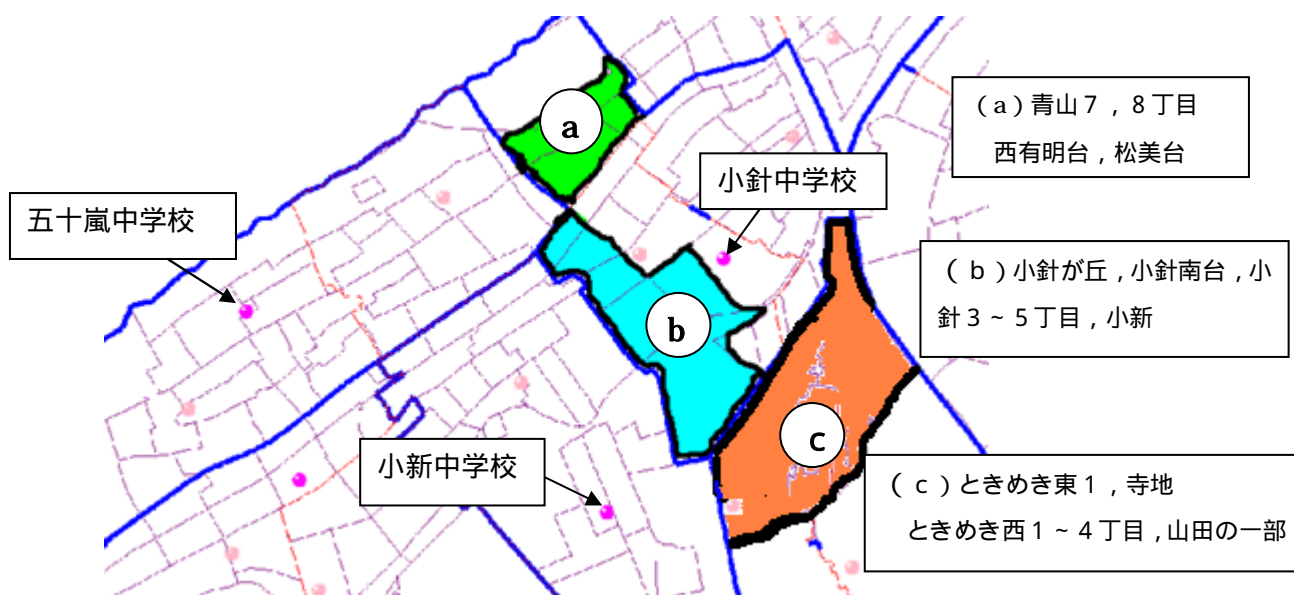
()は適正規模の学校

小針中学校，小針小学校，青山小学校，東青山小学校の
児童生徒数の推移



小針中学校区の3つの小学校の児童数は、今後増加が見込まれないことから、通学区域の変更により適正規模化を図ることを検討する。

小針中学校の再編案



- ア 西大通（旧 116 号線）より海側の（a）地域を五十嵐中学校の通学区域に変更する。
- イ アに加え，小針中学校通学区域の西側（b）地域を小新中学校の通学区域に変更する。
- ウ アに加え，認可地域（c）の認可校を小針中学校から小新中学校に変更。

通学区域の変更による学校規模（H27年度推計から試算）

上段：学級数 下段：生徒数

	現 状	ア (a)	イ (a)+(b)	ウ (a)+(c)
小針中学校	26 (1,010)	25 (907)	20 (740)	19 (685)
五十嵐中学校	15 (550)	18 (653)	18 (653)	18 (653)
小新中学校	11 (373)	11 (373)	15 (540)	16 (595)

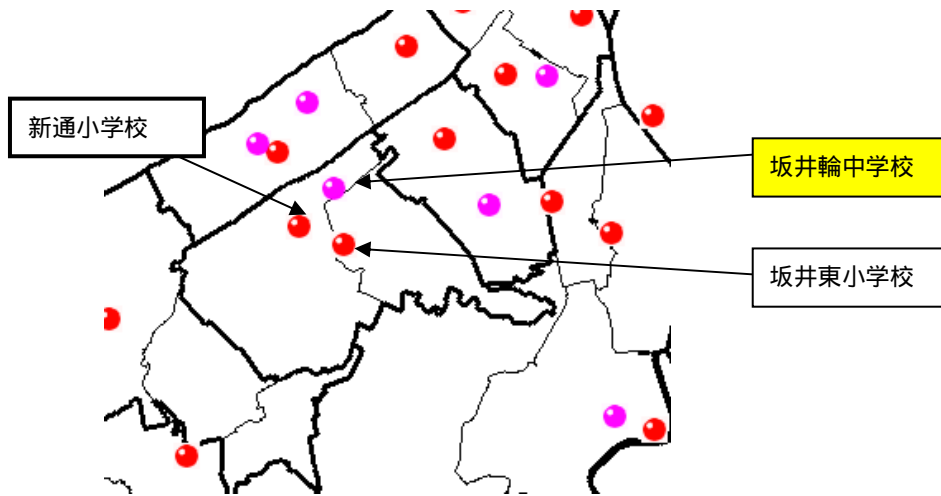
（認可地域Cは，ときめき東1，寺地，ときめき西1～4の生徒数で示した。）

課題： イの案では，小針小学校の児童が，小針中学校と小新中学校へ進学することになる。

また，bの地域を小新中学校に進学する坂井輪小学校区にすると，小針小学校が適正規模の下限の12学級，坂井輪小学校が32学級の大規模校になる。

ウの案では，旧黒埼町との合併時の移行方針を変更することになる。

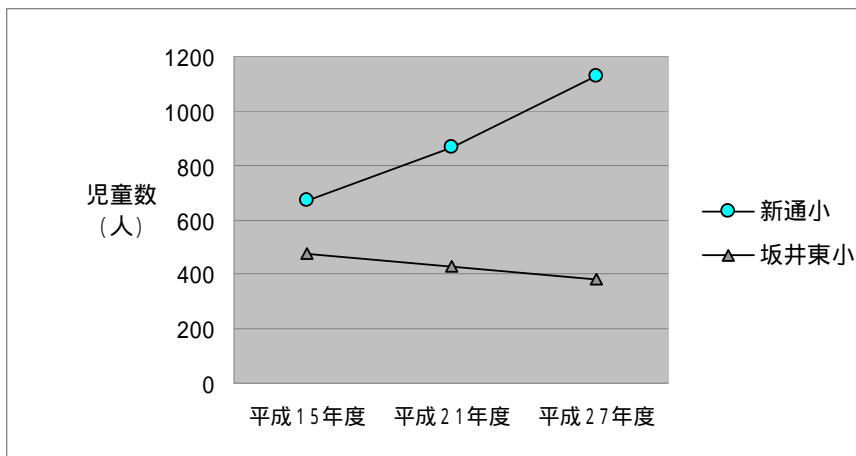
(4) 坂井輪中学校区を対象とした再編案
配置図



中学校	小学校
坂井輪中学校	新通小学校 (坂井東小学校)

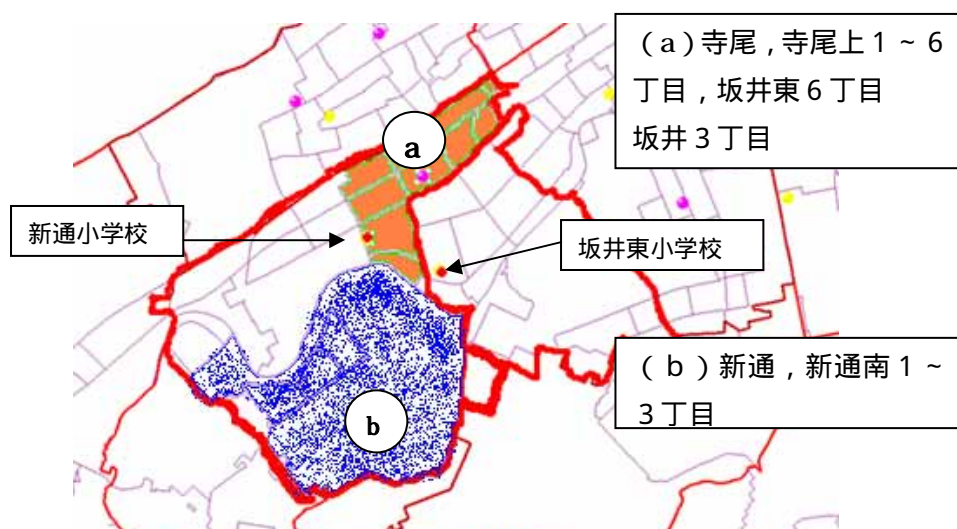
()は適正規模校

新通小学校と坂井東小学校の児童数の推移



同じ中学校区の坂井東小学校との通学区域の変更により適正規模化を図る。

新通小学校の再編案



ア (a) の地域 (寺尾, 寺尾上 1 ~ 6 丁目, 坂井東 6 丁目, 坂井 3 丁目) を坂井東小学校の通学区域に変更する場合

イ (b) の地域 (新通, 新通南 1 ~ 3 丁目) を坂井東小学校の通学区域に変更する場合

通学区域の変更による学校規模 (H 2 7 年度推計より試算)

上段：学級数 下段：児童数

	現状	ア (a)	イ (b)
新通小学校	3 2 (1, 1 2 6)	2 6 (8 1 1)	2 3 (7 0 7)
坂井東小学校	1 4 (3 8 1)	2 1 (6 9 6)	2 5 (8 0 0)

課題： アの場合, 新通小学校が坂井東小学校区に含まれる。

イの場合, 西川沿いに古くからある新通の集落が, 坂井東小学校区になる。